

『トライやる・ウィークの取り組み始まる』

先日、みんなが行く、『トライやる・ウィーク』の行き先が決定しました。それにあわせて先生達も、3月から打ち合わせや事業所への訪問を重ねて準備をしてきました。そして、みんなの取り組みも本格的に始まります。さて、事業所を決定する前には先輩などから「この事業所へ行ったら楽しいぞ」とか「この事業所は得やぞ」など聞いていたかもしれません。しかし、それは「トライやる・ウィーク」の本来の趣旨とは全く違います。1週間楽しむだけのために「トライやる・ウィーク」があるのではありません。自分の将来を考えるため、地域をしっかりと知るため、社会の一員になるためには何が必要かを学ぶために「トライやる・ウィーク」はあるのです。これまで20年の取り組みの中で、私たちのために協力してくれている事業所の方々、また、みんなが行くための事業所を開拓してくれた方々。保護者・地域の方々・先生で組織されている『トライやる・ウィーク推進委員会』など多くの方が多大な時間と労力を使ってこの取り組みができていくことへの感謝を忘れず、本来の「トライやる・ウィーク」の意義をしっかりと理解して取り組んでほしいと思います。

1. 『トライやる・ウィーク』とは

「トライやる・ウィーク」は2つの大きな出来事を契機として実施することになりました。1つ目は、平成7年1月の阪神・淡路大震災です。この地震では、多くのボランティアが活躍し、自分や他人の命や人権を尊重する心、ボランティア精神、共に生きることの大切さなど多くの教訓をもたらしました。2つ目は、平成9年、中学生による神戸市須磨区での悲惨な事件の発生です。この事件は、人間としての在り方、生き方を改めて考えさせられることになりました。そして、「トライやる・ウィーク」の意味は、「挑戦するのトライ」・「学校・家庭・地域社会の連携を意味するトライアングル」の意味が込められています。地域での体験、各事業所の方との関わりなどを通して、豊かな感性や創造力などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけることができるような機会にするために始まったのです。

2. 『トライやる・ウィーク』の意義

- (1) 学校を離れ、自分の住んでいる地域の人たちや事業所の人たちとのふれあいを肌で感じる。
- (2) 社会の一員としての自分の存在を確かめ、自分自身がやれることを精いっぱいやり遂げる。
- (3) 体験学習を通して、将来の自分自身の道を考える機会にする。

3. 日程・時間・場所

【日程】平成30年6月4日（月）～6月8日（金）

※定休日のある事業所については、その日は別の取組みを実施する。

【時間】9：00～15：00（事業所によって活動時間が異なることがあります。）

【場所】江井島中学校区および周辺地区 54事業所

4. 表紙絵・スローガン募集（別紙）および自己紹介カードの下書き

- 「トライやる・ウィーク」活動中の日誌及び活動後の文集に使用するイラストを募集します。アニメやマンガなどのキャラクターは避けて、オリジナルなデザインをお願いします。
- 「トライやる・ウィーク」を成功させるための学年スローガンを募集します。
- 自己紹介カードの下書きをします。

※どちらも提出期限は5月1日です。しっかり考えよう！！



5. 5月18日の事業所訪問に向けて

5月18日（金）の午後に、ほとんどの人がそれぞれの事業所に直接訪問します。

家、もしくは学校からどれくらいの距離があるのか、どのような交通手段で行くのか、また費用がどれくらいかかるのかを調べておきましょう。校区内は基本的に徒歩です。行ったことがない場所に行く場合は、この連休を利用して必ず一度は行っておきましょう。

6. 今後の日程

5月2日	（水）	5校時	冊子配布・作成	トライやるに向けての決意記入
5月8日	（火）	5校時	事業所別集会	冊子の読み合わせ・記入、検便配布
5月10・11日	（木）・（金）		検便提出	できるだけ10日に提出
5月16日	（水）	朝	集会	マナー・心構えについて
5月17・18日	（木）・（金）	午後	事業所訪問	ここまで、経路確認

※県・市関連の事業所へ行く人たちについては、他校との関係もあり

5月の末頃の訪問になる可能性があります。

※ため池の整備事業に参加する人たちについては
事前訪問はありません。また、新聞やテレビなどの
取材が入る可能性があります。

